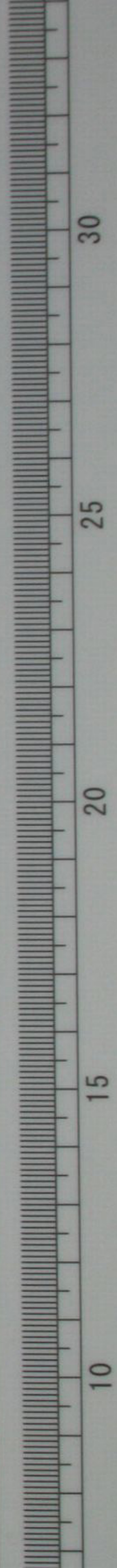




土岐文庫
文庫17
W217
3



文庫 17
W217
3

紅毛雜話卷之三

東都 森嶋中良



○紅毛國より日本國まで海路の記

鳴蘭ハルマンドの商船カマシ東の方オモ瓜哇オモ日本等の地へ渡海す。アマム
ステルダムより発船す。アマムステルダム紅毛の都城オモ
居オモる所ありて北極北五十二度廿二分ありて氣候
最も涼し。其地は海あり。アマムステルダム地の名
は河ありて稱す。その港口は政羅巴



昭和六十年二月一日
土岐善彦氏寄贈

010185195347

信玄の高船輻湊して。紅毛人

の所より船何れも針路河西

其海とある所。諸厄利亞思可奇亞喜白利尼亞の

嶋あり。此の所河をて。ゴロトブリタニヤ

亦如拂郎察國あり。世の諸諸厄利亞の境の

端戸河。船師の詞かナル

「コレ」といひ。紅毛人の「モウ」といふ。俱か

半あり。世の彼玄の衣服の筒袖

け名あり。其端門の幅六七

この紅毛の紅毛の里根より下等回

諸厄利亞。西洋中の大船めて。小極出地

度にあつて。土人標桿あり。て智あり

流の技藝も古なり。け玄の内。ゴロト

細工天下第一めて。他玄の

又

拂郎察國。歐羅巴洲の

より。五十一度の乃あり

け國の風俗人情親切あり

て軍器の事も長なり。他玄の人と交

大都の人の肉あり。衣服の制

糸毛雜言

卷之三

二

あり。もろくは諸國を以て破れ地となり。と下和陸
 して。人々自己が業を勵む。他處にあえり。げ海
 沖より。計略の西南の方を取。伊新巴你亞海より。
 其海より在り。西河コセアリスラクデスターリ
 り。沃して大西洋より。もろくは伊新巴你亞國より。い
 玉の形。古より。半皮や皮を以て。其地赤道
 北二十度より。四十度までの間にあり。國の南北は海
 濱より。東海に他處小界あり。國人交易の事あり。て。井
 察。諸厄利亞。紅毛の諸國に海濱より。邦内は十四道
 あり。氣候熱と。諸菓。葡萄酒。麻。芋。等あり。國

中に人民あり。國の西は曠野多し。銅鉄あり。又東海
 も多し。もろくは。亞墨利加より。金銀河あり。其
 中の東海に。初て。其より。人々。げ海より。され。バ
 西。大西洋。東は。波。杜。瓦。爾。國。あり。其地赤道より。十
 度より。四十二度の間にあり。げ。西。羅。巴。海。の中。あり。て。大
 ろ。す。もろくは。人。皆。海。濱。あり。て。政。羅。巴。の。諸。國。に
 雄。長。あり。西。河。の。道。より。ち。都。城。の。左。新。河。リス。ボ。ン。と。云。
 沿海地あり。げ。西。中。大。河。あり。り。中。も。ター。ジ。ス。と
 げ。河。あり。人。人。ター。ヨ。と。留。り。都。城。あり。て。伊。斯。巴。你
 亞。の。海。あり。法。西。の。商。船。此。河。と。海。濱。都。下。に。集。り。て。文

易す。商人そのやあてを精力や賣買の事にあつて。亞細亞。亞弗利加等の遠方に^海商人して利用と得るる所を^商勃しをり。を産する所の酒。油。金。銀。湯。沿。明。礬。等。の。外。明珠。不。類。多。し。其。中。コ。イ。テ。ラ。と。り。小。あ。り。可。シ。ホ。ン。と。り。三。十。五。里。北。の。方。多。り。其。地。に。湖。河。り。あ。り。中。に。巨。あ。る。材。木。或。は。洗。猪。等。を。舟。擲。入。る。に。い。さ。い。さ。も。洗。び。る。あ。り。して。あ。ら。み。は。海。お。も。り。お。世。海。が。ら。れ。は。汁。濃。西。南。に。り。く。く。の。亞。弗。利。加。洲。の。海。に。向。ふ。其。万。海。に。沿。て。多。く。航。中。大。あ。る。もの。バ。ル。ビ。ン。ロ。ル。ド。ル。ゲ。リ。と。し。カ。ン。ラ。コ。キ。リ。シ。ヤ。ク。ワ。ラ。ダ。ア。ル。ゴ。イ。ン。コ。イ。子。ヤ。コ。シ。ゴ。ウ。等。あ。り。

是皆亞夫利加洲の内あり又同洲の地方より七十里に西にありて「カナリリセイランド」の地ありて熱して八等あり。金銀等々其他の土産多きを携て其後の海を渡る。コロキクエイト「と」の地ありて福清の地なり。其内の「テシリフア」の地ありて「ローゴ」といふ宇宙の地の山あり世界の地より他り。その緯度は北緯三十一度ありて始す。其地亞夫利加洲の赤道の南にありて南緯三十一度ありて酷熱あり。其中にはハ百里の曠野あり。其地には沙土の多くなり。河あり。其地商人人民居住しが其地よりげ造。象。獅子。

虎。パンデルス豹の壯。蛇。飛竜。猿。犬。馬の属と云々と。土人色を
 して野鄙サシ。猓シロ。獐シロ。北の方地中海に近き
 あり。色も黄。其色白。もつ。まろく。南に住る者
 何れもその色也。又いふの中。泥ヌ入多。まろく。つら
 其地ムイヤ。野ムイヤ。以来。互。海。ゆ。ゆ。中。に。を。子。イ。ル
 八月の始。海。に。入。り。て。田。を。水。に。漬。く。土。人。の
 漲。多。お。海。根。く。其。歳。の。農。作。の。豊。歉。や。わ。び。知。ら。ぬ。
 其。地。平。地。に。り。て。日。本。の。人。あ。て。之。丈。六。尺。に
 せ。り。ち。し。て。四。十。尺。に。せ。り。減。じ。て。せ。り。の。や。し。也。

又亞弗利加の諸より西のふに十の島あり。總名「カホルテン」
 とす。或は「ソウテ」又「グルウーセイランド」とも。波。尔。杜
 尾。尔。國。は。属。也。紅。毛。の。高。船。亦。洋。に。渡。り。の。び。あ。り。計。略
 所。亦。南。に。行。き。て。船。を。走。り。せ。投。百。里。の。海。上。に。行。き。て「ボッテ
 ントウテ」の地あり。是。は。喝。公。國。の。一。名。あり。初。巻。に。載。り。て。亞。弗。利。加。洲。極。南。の
 地。あり。て。赤道。以南。三。十。六。度。に。在。り。土。人。を。云。く。ま。ろ。く。と。い。ふ。て
 鄙。陋。あり。て。人。類。に。似。ず。他。方。の。高。船。に。地。を。泊。り。て。船。を。走。り
 者。食物。の。貯。を。海。邊。に。棄。り。て。土。人。等。より。食。り。て。其。飲
 ち。ぬ。も。人。の。あ。れ。は。ま。ろ。く。あ。り。て。人。を。降。を。候。ひ。て。棄。り
 物。を。食。ら。ず。と。い。ふ。り。地。海。風。筋。を。候。ひ。て。波。浪。最。大。あり。

西洋諸島の船に激浪多しやその破壊せしむる所は
け渾身の力に始る者多し故にけ渾身の
拂席察人「カアポトボシエス」ラセシ号く印も人共我を
以して「カープテグーテホー」ト云。華人又其の我を以て
て喜望峯ト云。初アムステルダムに在りて大西洋を
より亞弗利加の諸島に渡りて其地あり海流計に
二百里あり。順風あり九四五月に終りては押に
船とゆえ。天女の晴陰風波の初静に考て又友
河出帆し。しるに東洋に赴くあり。喝ハより之
十六度あり。其北に麻布葛夫葛尔と云。大

わり。やみの海の中暗礁くまらざり。礁の利す
鋒頂の如くあり。海船られぬ船ふとの忽船底は
破らる。しるに東洋に赴くあり。喝ハより之
河出帆し。しるに東洋に赴くあり。喝ハより之
十六度あり。其北に麻布葛夫葛尔と云。大
の海に「コーレイン」ト云。しるに東洋に赴くあり。喝ハより之
其北に「アトピア」ト云。伯兒齊亞。應帝亞等の海あり。
いづれも危物多し。其地あり。喝ハより之
帆して進む。しるに東洋に赴くあり。喝ハより之
留に在る。しるに東洋に赴くあり。喝ハより之
しるに東洋に赴くあり。喝ハより之

け玉の石を介なれり。玩も地赤道以南六度所に居る。東西
百五十里。南北三十里。なるべし。其候乃に燠し
て稻穀一歳に再熟す。其西北に須馬大刺に距り。東北に
浮泥に近し。其西に外洋あり。阿茶院より役所所
居する所は「バターヒヤ」といふ。此地に椰子の木多し。其
外産物充溢して。諸蛮交易の要地あり。風俗暹羅に
似たり。糸髪ありて細く。文身しつゝ。その同なり。
男に遠路あり。其堆髪あり。男子は布衣にして。其纏ふ
は布のより。何「サプター」に似たり。其布は、新のよ木。
竜涎。胡椒。肉豆蔻。松棉。椰子。班枝花。サ科藤。耳蕨。燕窩。鳥ハ

鴨。鵜。遠可。鸚。孔雀。火雞。火雞ハ火河の余り。其
類ハ犀。豕。猪。香
貓。栗鼠。猴。犬。牛。鹿。等あり。紅毛人は新より日本に渡海
す。其日本の五月朔旬に「バターヒヤ」より舟船し。針
路河西北に取。牧里ありて「スタラート」カ」の途あり。
小島あり。其海ありに尺放。新東に浮泥。其地は須馬太刺の
五里余。西に須馬大刺あり。滿刺加の地あり。其浮泥は
のハ亞細亞の中の大島ありて。瓜哇の東北にあり。其地
赤道の直下ありて。其候極寒あり。人皆面黒く。食
食を以て其血あり。竹多し。小貝多し。其地は編て。其
土地は産する。其地は五里の地あり。其地は椰子

子。松棉の類あり。須う太刺。暹羅の南に在りて。滿刺加と
くづらふ半島の海峽と隔つ。島の形はくくして入り。け
地と赤道の真下にある。候はつて豊と。産物多し。
米粟。猪。魚。元。満。と。おの。外。今。限。あ。び。ベルゲストフ
令。石。の。茶。種。絲。木。綿。の。と。と。ひ。と。出。す。西。洋。の。高。船。絶。ど
あ。つ。て。交。易。す。と。あ。ん。と。人。武。力。強。健。め。と。て。各。に。他
國。と。戦。争。挑。む。紅。毛。の。曆。教。一。千。六。百。年。あ。當。つ。て。戦。士。六。万
人。軍。船。二。百。艘。脚。艇。五。十。艘。河。備。波。尔。杜。瓦。尔。め。教。習。し。來
ア。と。て。戦。争。あ。せ。し。り。あ。わ。く。と。と。と。滿。刺。加。の。地。は。須。馬。太。刺
の。北。に。在。り。喬。羅。亞。那。め。屬。せ。り。曆。教。一。千。六。百。四。十。年。の

後。河。系。地。め。屬。し。て。其。地。名。コレイス。と。改。む。ま。う。以。來
土。人。の。言。語。コレイス。と。印度。の。言。わ。り。と。土。產。は。沙。糖。米。下。香
胡椒。等。あり。お。穀。は。少。し。と。と。と。此。海。上。河。を。な。れ。針。路
河。東。北。の。方。め。求。り。と。え。る。其。西。は。支。那。の。極。東。沿。海。た。と
地。め。して。東。埔。塞。占。城。文。跡。瓊。州。廣。東。東。京。福。建。浙。江。等。の
所。あり。其。東。は。寧。夏。と。大。あ。く。と。の。ハ。ラ。ゴ。ワ。シ。タ。ナ。ラ
呂。宋。等。あり。け。遠。の。法。語。の。懸。名。河。リ。ン。セ。エ。イ。ラ。ン。ド。と。と。と
を。中。に。あり。呂。宋。河。船。毛。波。め。リ。ン。ゴ。ー。ニ。ヤ。と。と。と。又。コレイス。と
り。不。あ。り。皆。伊。斯。巴。你。亞。に。屬。せ。り。後。に。コレ。ン。ダ。ナ。ナ。に
併。せ。ら。る。據。り。コレイス。の。と。今。め。し。と。と。と。伊。斯。巴。你。亞

以後より。其地南北百里余。東西六十里に及ぶ。是れ物産
 あり。蘇木移りて多し。又呂宋の西。文趾の海濱
 に近きあり。ゴラクと云ふ。南北四十里余の沙地あり。華
 人の所成りて。万里長沙と云ふ。又河を以て。東水の方教
 百里ありて。一の大島あり。ホルモウザと云。華人の所成りて
 聖灣と云ふ。又東寧と云ふ。其の地と云。西ハ福建と云。東ハ
 大琉球あり。是より北に紅毛人の所成りて。長
 城の南に。その名河セイランテヤと云ふ。曆教一五六百
 六十一歳日本の寛文二年清の康熙元年に及ぶ。其河は支那の海賊に
 あり。是れより。是れより。後紅毛人の所成り長河

是れより。南北凡六十里。東西二十四五里なり。是れ候日
 本に比し。其の温暖あり。俗皆頑愚と云ふ。人河船を以て
 好む。其の髪は禿あり。洞あり。湯等の酒。河船。男
 女何れも洗髪ありて。血も短衫河裳。幅巾河巾ありて
 襦の下河蔽あり。婦人の髪も布河用て。脛河果衣。多く草
 花の河帯。男子の髪も十五歳あり。襦河編て。腰河圍
 み。其腰骨河小と云ふ。其の所。物も出。穀河追あり。牛
 奔馬より。速あり。生剪河以て。齒河深。耳と云ふ。其
 穴あり。血河刺て。文に云ふ。其の所。皆紅毛の文字の
 あり。其の所。新。鷲。鶴。雁の属。大豹。鹿。麋。

の乳。茅。椰子。松。棉。荔枝。等のとの所出也。初め瓜哇と
 兵帆。海上凡二百七十里。東の波濤。西の。其地。海より
 まより。二百五十里あり。て。日本の六月下旬。長崎の港
 に至る。其地。海より二百五十里あり。て。直に其地。至る。其地。海より二百五十里あり。て。直に其地。至る。其地。海より二百五十里あり。て。直に其地。至る。 吾船
 往の海より。大琉球。マキ島。既。島。茅。海。往。て。針。海。西。北。の
 所。あり。て。ヨリ。タ。ン。上。の。具。カ。ラ。ド。ボ。ー。コ。同。上。茅。の。具。海。以
 て。日。輪。の。一。サ。を。測。り。其。道。の。距離。と。ま。り。考。へ。て。吾。船
 の。あ。る。と。ころ。赤道。の。南。北。何。度。あり。半。海。志。す。不
 乃。針。海。より。進。む。時。に。遠。く。近。く。時。に。多。く。是。彼。邦。の
 船。師。一。の。勅。あり。て。あり。

○釋迦の名并佛体の金色

上の卷の灵鷲山の條に云く。釈迦の名は意希亜の
 俗にして「サゴモンバルカノン」と云ふ。中良抄に「サゴモン」ハ釈迦
 牟尼あり。又釈迦文と書るも。佛は牟尼あり。バルカニハ
 婆羅門あり。又波羅賀賀磨奴とも云ふ。是天竺の姓あり
 半翻釈名義其来よ。妻妾裁より去まれば「サゴモン」ハ名
 「バルカニ」ハ姓ありん。佛は紅毛人の名は「イサアカテチキ」
 と云ふ。「イサアカ」ハ名あり。「テチキ」ハ姓あり。其ふに名づ
 くるに「ハ」何々テチキと云ふが如し。然れども予佛書の
 所記に「ハ」セギレハ。け考當よりてハ定むが如し。されども

上 雑言 卷之三

名義并来と推して、況をんべんくさるるも、何れも、
 寺也。由依の令也。彼天竺の國人、何れも、馬坊あれど、亦
 道向東也。くもつれくもつる者、其色、黄あり。釈迦、亦
 應、帝亜のせれあま、このや、黄、瘡、色あま、彼、
 黄金の孔と云、くもつる、佛像と令、く、泊、は、く、く、
漢武故事、昆邪王休屠王、
 此文、み、く、の、令、く、み、く、
 羊、河、胡、の、令、く、く、唐、と、塔、て、洋、礼、も、云、
 此、文、み、く、の、令、く、み、く、
 武、帝、の、令、く、其、泉、宮、み、く、
 牛、
 漢武故事、昆邪王休屠王、
 此文、み、く、の、令、く、み、く、
 羊、河、胡、の、令、く、く、唐、と、塔、て、洋、礼、も、云、
 此、文、み、く、の、令、く、み、く、
 武、帝、の、令、く、其、泉、宮、み、く、
 牛、
 利加洲の虫人、南へより、く、く、北の、く、く、色、く、北の、く、
 地中海へより、く、く、地の者、色、白く、く、く、く、
 く、く、く、馬坊、小く、く、く、く、く、く、く、く、く、
 黄、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
 わ、く、く、の、馬坊、何れ、く、く、髪、前、く、く、く、く、
 而、依、の、螺、髪、
 唐土の文字
 紅、く、く、万、石、の、丸、土、河、江、く、く、く、く、
 唐、土、の、丸、土、河、江、く、く、く、く、
 一、く、く、一、く、く、の、
 わ、く、く、一、く、く、河、十、く、く、二十、く、く、く、
 万、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
 忘、れ、て、勤、学、ま、く、く、く、く、

地中海へより、く、く、地の者、色、白く、く、く、
 く、く、く、馬坊、小く、く、く、く、く、く、く、く、
 黄、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
 わ、く、く、の、馬坊、何れ、く、く、髪、前、く、く、く、く、
 而、依、の、螺、髪、
 唐土の文字
 紅、く、く、万、石、の、丸、土、河、江、く、く、く、く、
 唐、土、の、丸、土、河、江、く、く、く、く、
 一、く、く、一、く、く、の、
 わ、く、く、一、く、く、河、十、く、く、二十、く、く、く、
 万、く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
 忘、れ、て、勤、学、ま、く、く、く、く、

義印海(暹)すきり能くもくまゆるすこじゆおんを記し
 一書籍は容易漢得者也。第すべし此の語を記し
 あり。歐羅巴海(おもひの遠まきんて) 二十五字のまじはぬておか
 りすくと記ししりともん。彼邦のまじと「アベセ」といふ吾邦のいら
 はのまじ一文字に二十字の母をぬき
 てうて方のまじともん 中良業に皇朝の直に簡易ありて。又その
 用も。まじり世傳りて五十言の目標也。唐土のうまの倣用
 事あり。いふく末の世もありて。唐土のうまの吾の義
 用事し改しり。ゆかりありて。吾國風情を
 事多し好りしき。唐土の用は山(かみ)の字を
 志す。漢書(まじり)の字ありて。唐土の字を
 まじり。

○印毛圓の名

日本あり「フラング」とりて。其は「ホルランド」あり。
 支那あり紅毛。又紅夷あり。華人のそと。せざる
 義法あり。阿蒙院(あもんえん)あり。其は「
 おもの人國の名は唱申せん。」ポーラにこのりあり。ドの
 字とはあり。まじりて。唱(なげ)あり。音は
 しす。近比(ちかひ)荷蘭(おらん)法蘭(ほうらん)し多(おほ)く。親(おや)
 あり。

○火浣布

火浣布の蛮名「アヤント」又「ステイン」フランスともいふ。ステイン
 石。フランス布の事あり。典籍便覽に載す。其の石麻あり

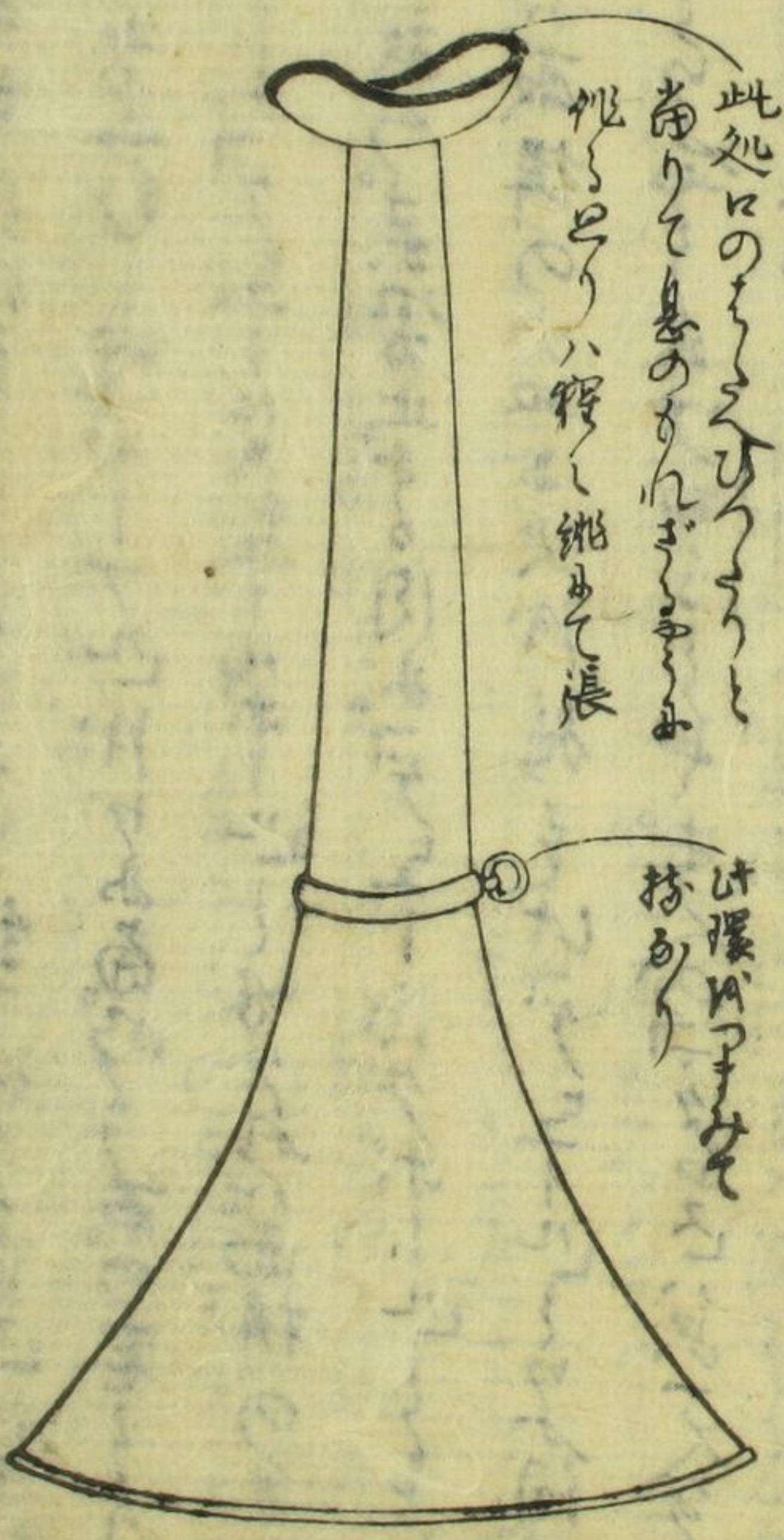
まり。明和辛酉。東都の隠士。牟賀坊侯あり。若州の侍
 醫。中川淳庵と云ふ。後又山中より産する石麻。河
 以て。火浣布ハクフなり。只布の形。河成カノのカノを以て。
 ねむむ。ゆぬが。織オリを。教シす。是製法
 河成カノに傳へあり。近以雲船クモフネのカノ。子ルコのカノ。
 子ルコのカノ。紅毛人ベニウシのカノ。ボイスボイス。書の中カノに。妻メをカノ。
 と教シり。家兄ケイの物カノ。往年蕃客ハシの旅亭カノ。對活カノ
 時。火浣布ハクフのカノ。旭アサ漢カノ。石麻カノ。
 て。加比丹カビタンアウレントアウレント弁ルカノヘカノ止カノに。堅カノ定カノセカノ。極カノ火浣
 上好カノの石麻カノあり。是カノ。極カノ火浣

布カノ減カノす。相昔カノ奉カノ玉カノ製カノ。大カノさカノのカノ。手カノ拭カノあり。當カノにカノ入カノてカノ掃カノ。多カノ高カノ。本カノ綿カノ
 にカノ異カノ。時カノハカノ止カノ。備カノあり。火カノ煨カノ。件カノの
 布カノとカノ火カノのカノ内カノ。投カノへ。火カノ著カノめ。川カノわカノ。退カノてカノ考カノ。火カノ浣カノの
 焼カノ換カノ。自カノ若カノ。退カノてカノ考カノ。火カノ浣カノの
 亦カノ。石麻カノとカノ製カノ。火カノ浣カノ布カノのカノ。織カノ。
 織カノ。試カノ人カノとカノ申カノ。作カノりカノき。

〇 ループル

ループルとは蓋あり。形は如字す。け忍口にあて
きの方の人にその紙をまき。耳の向うにめて
りあわくす也。又耳あつればきをまめてりあわ
るをくはせゆれど。あきより云をく経速にあらん。
真湊又ハミヨリの清合をめて使。或人の工夫をて法
差粉をめて。英法紙めて法按に捲く。よ何清津をぬり
固めて使り。その用。まきに製り。その
よのにおとす。巻語に呼ぶループル。ループルは
りのといふ事。よるなり。

ループル之番



此処口のまきひくす
尚りて巻のめんごま
此のまきハ程に張

け環のつまみ
持あり

長三尺余

口の用き径一尺四寸程

あてけ格ぬき遠なるか

「ナンガサキ」京都の事也「ニヤコ」といふは邦の俗に
もあつたといふ詞也。殊に「ハ」は彼邦あてのたはりの
やうにあらはれ。或曰や。兵庫青。日本の物多きといふ

○顕微鏡

近以舶来「ニコラスコーピム」といふ顕微鏡あり。形
星の如し。種々のものあり。一は「ス」の
微細あり。一は「ハ」の外あり。塔の形と塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。

酒ハ百沸湯の如く。一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。
一は「ハ」の形あり。一は「ハ」の形あり。塔の角あり。

みろくつべー司馬江漢「ニコラスコービユ」にて
るるる所ののの河。多く画て之を蔵じ其
一二番河をくしてをぬす。後所の荒唐を
ごごげきき河をくく人知金

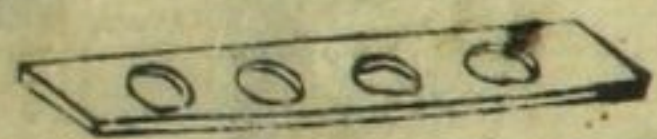
ニコラスコービユ之圖

此所よりえ



出所をさし
振くわく

虫体をもむねの家
あて作りてく雲母
切へ其間へ虫体をも
汁金をあて押さると



大あつ虫と
狭む具と
輸りて修



あつ虫と合て
その蓋をくハ
角の板を上下
にむいと修
あてをり

米

葉のちりしり
折色(折)系



帯のふりかけあり

芥子

細の目の

皺あり



胡麻

全粒石目
細あり



紫蕪の實

紫あり

色あり



粟

葉あり
石あり



あ引草の花



上の花びら
三ひらね下の二ひら
白葉ハカキ葉あり
白

柳

葉あり
花あり



三葉酸の实



葉あり
花あり

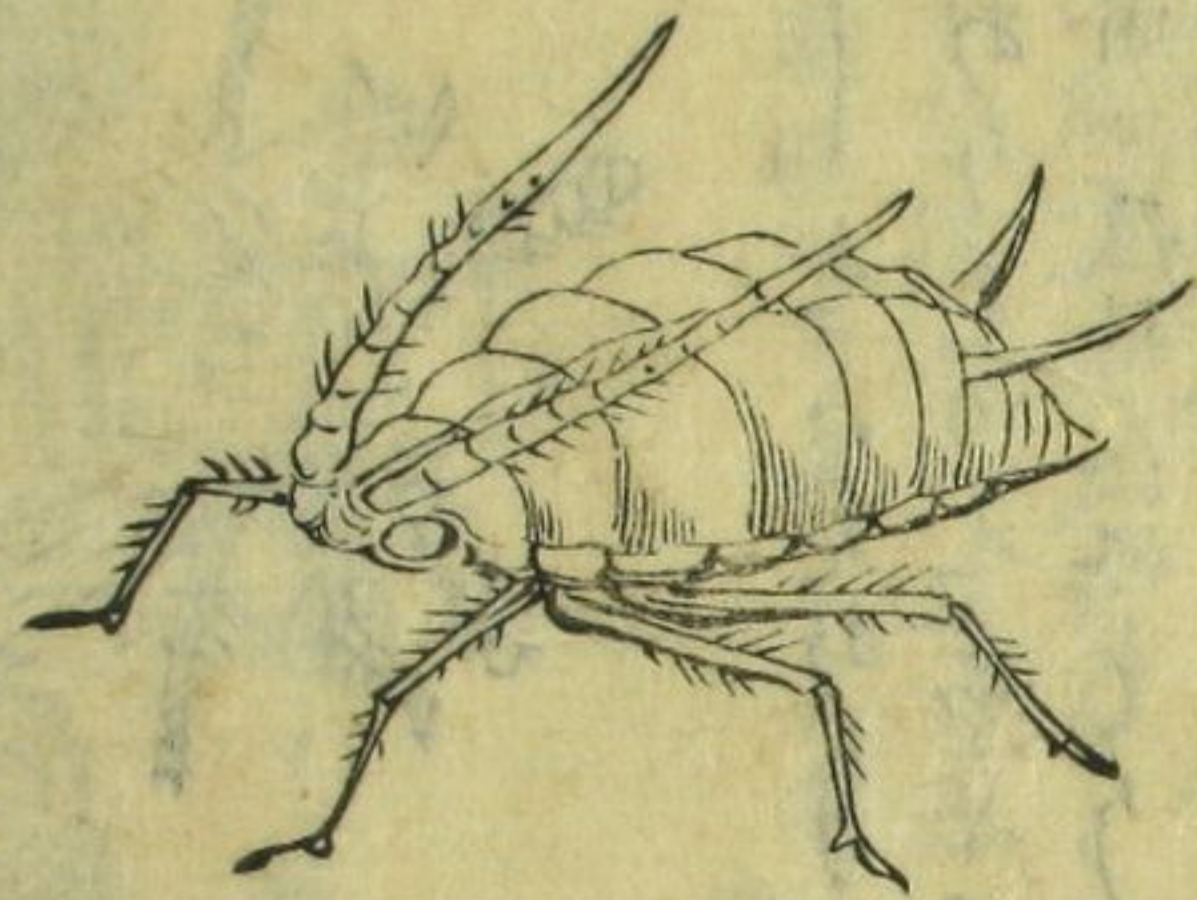
鬚頭の芽出

根漆の
やく芽ハ

柿色
あり



竹虱



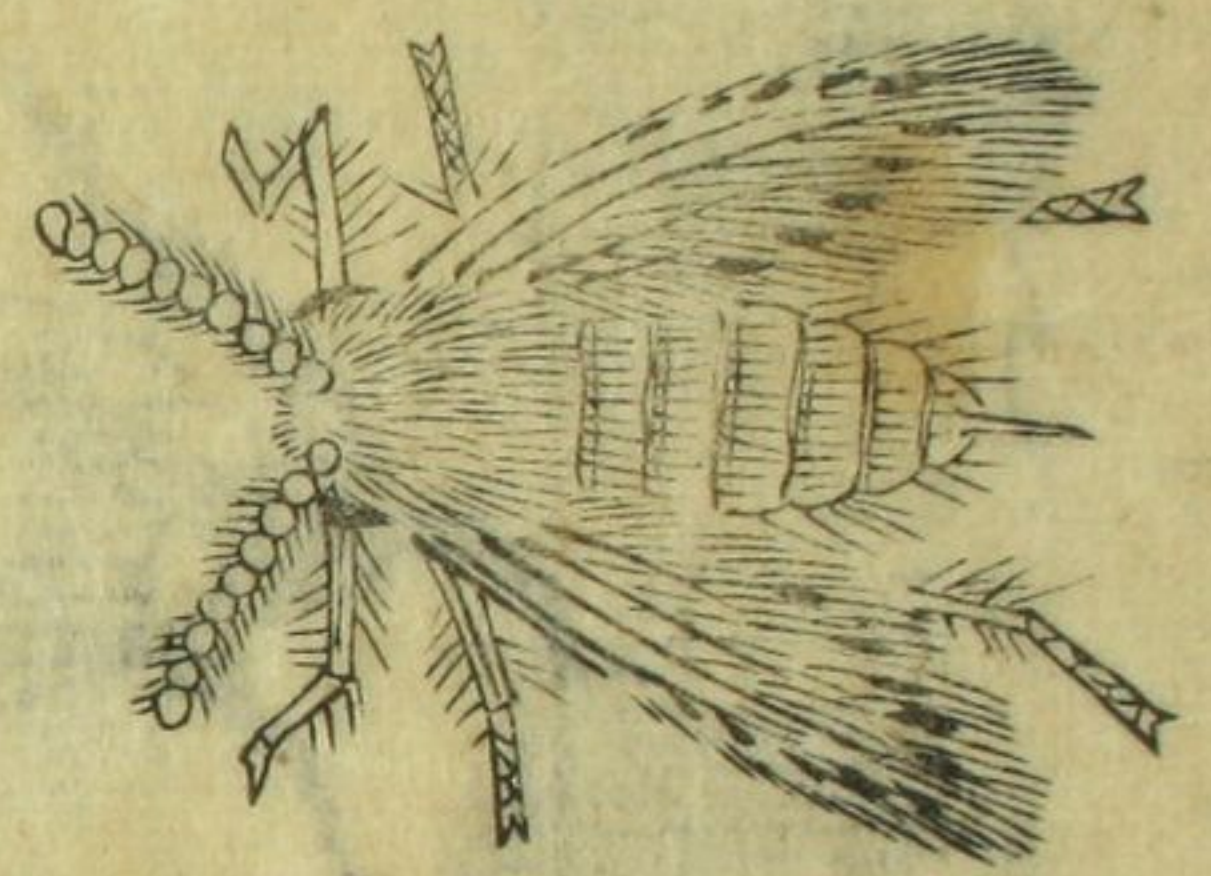
全身海めて
眼柿色あり

蝨



足六本あり
二本ハ鼻の
先あり
全身海老
色あり

蛸たけ



全背白——毛かえあり
 卵か毛あり毛の先黒く軍のやく
 足申る角ハ様様ハ似たり玉とまじりて
 毛わり尻か赤き釵えあり

虱し

背之虱

全背烏賊ハ似たり足ハ
 蟹の爪のやく先まじり
 ありて狭あり腹の毛
 まハ腕腑の透ちりてん重



腹之虱



卵破る形



卵

小口平ありて紋あり

蠅

一 卵



二 卵破ん



三 幼虫



五

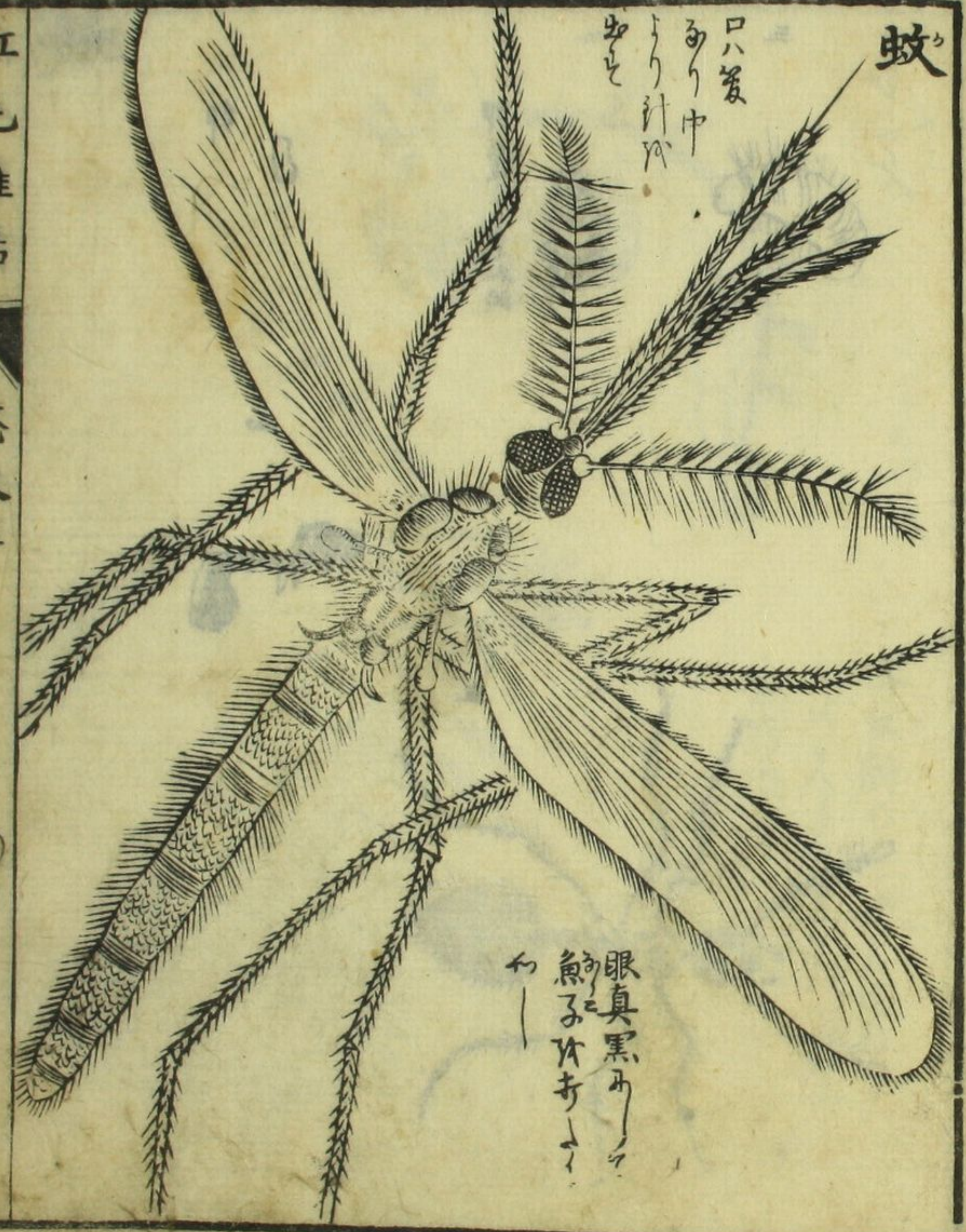


夫よりわくのちま形
あり目ありどしして
蠅とあり



蚊

口ハ
あり中
より汁
物と



眼真黒
あり
鱗子
あり

蟻

一 卵



卵囊して此



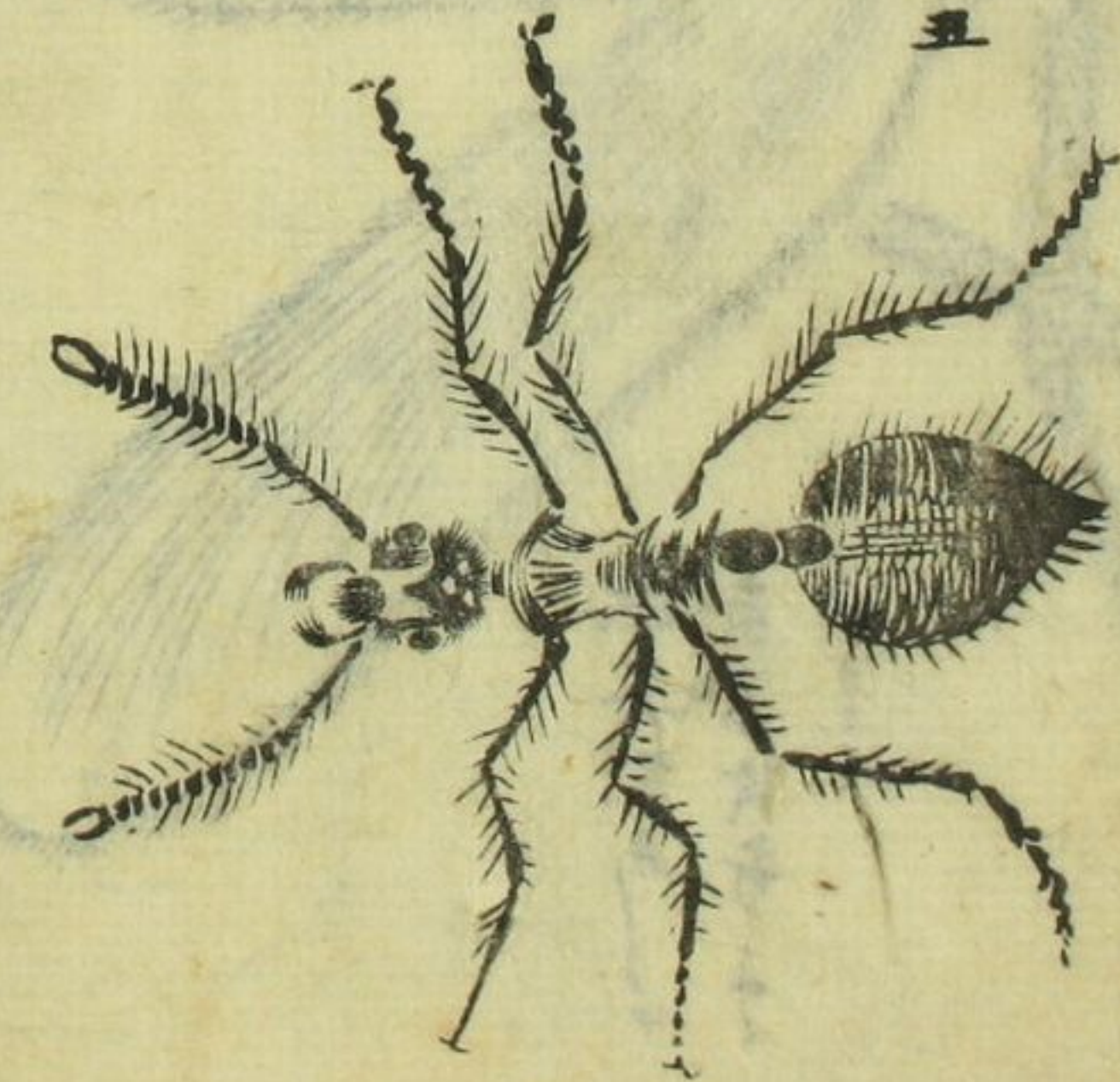
三



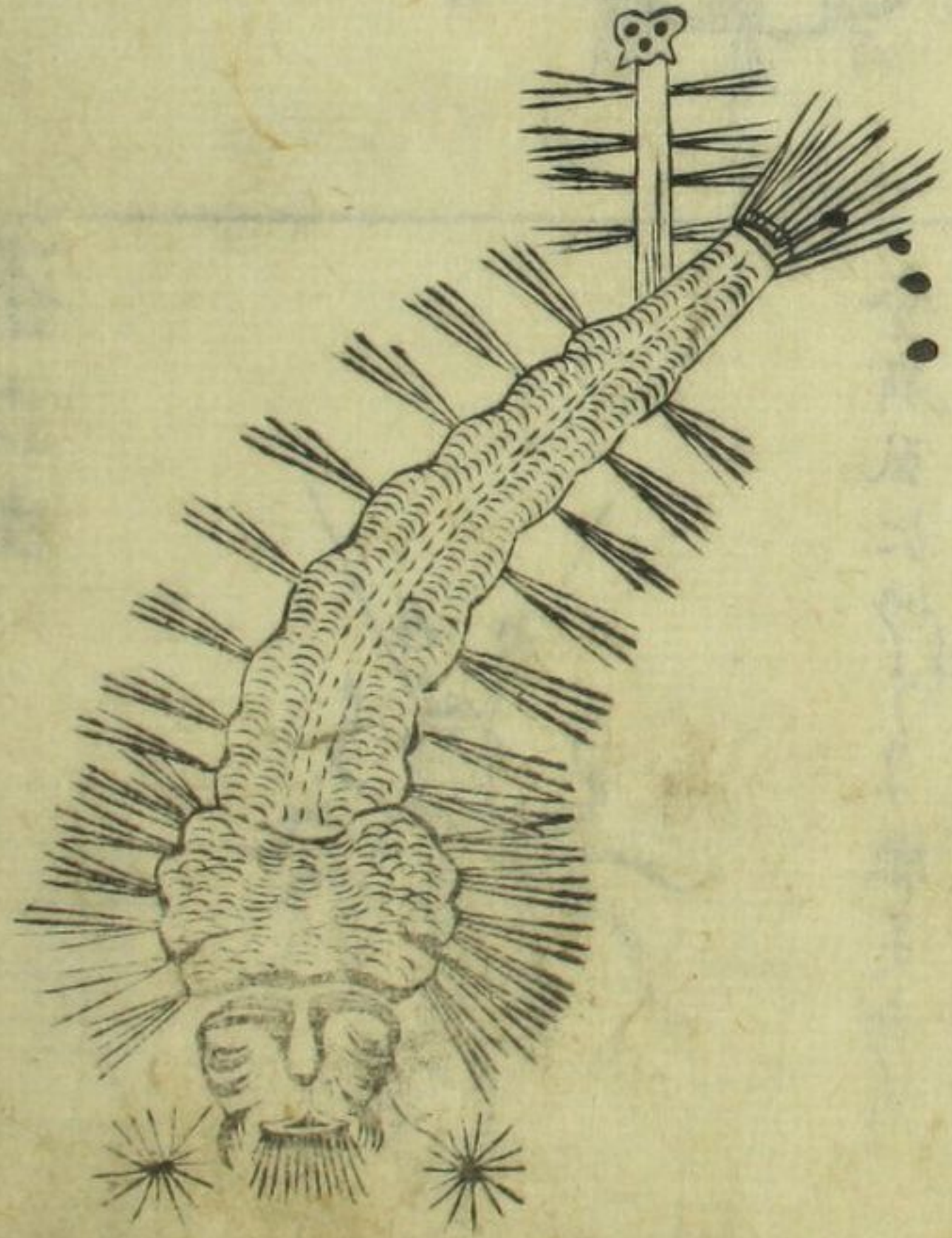
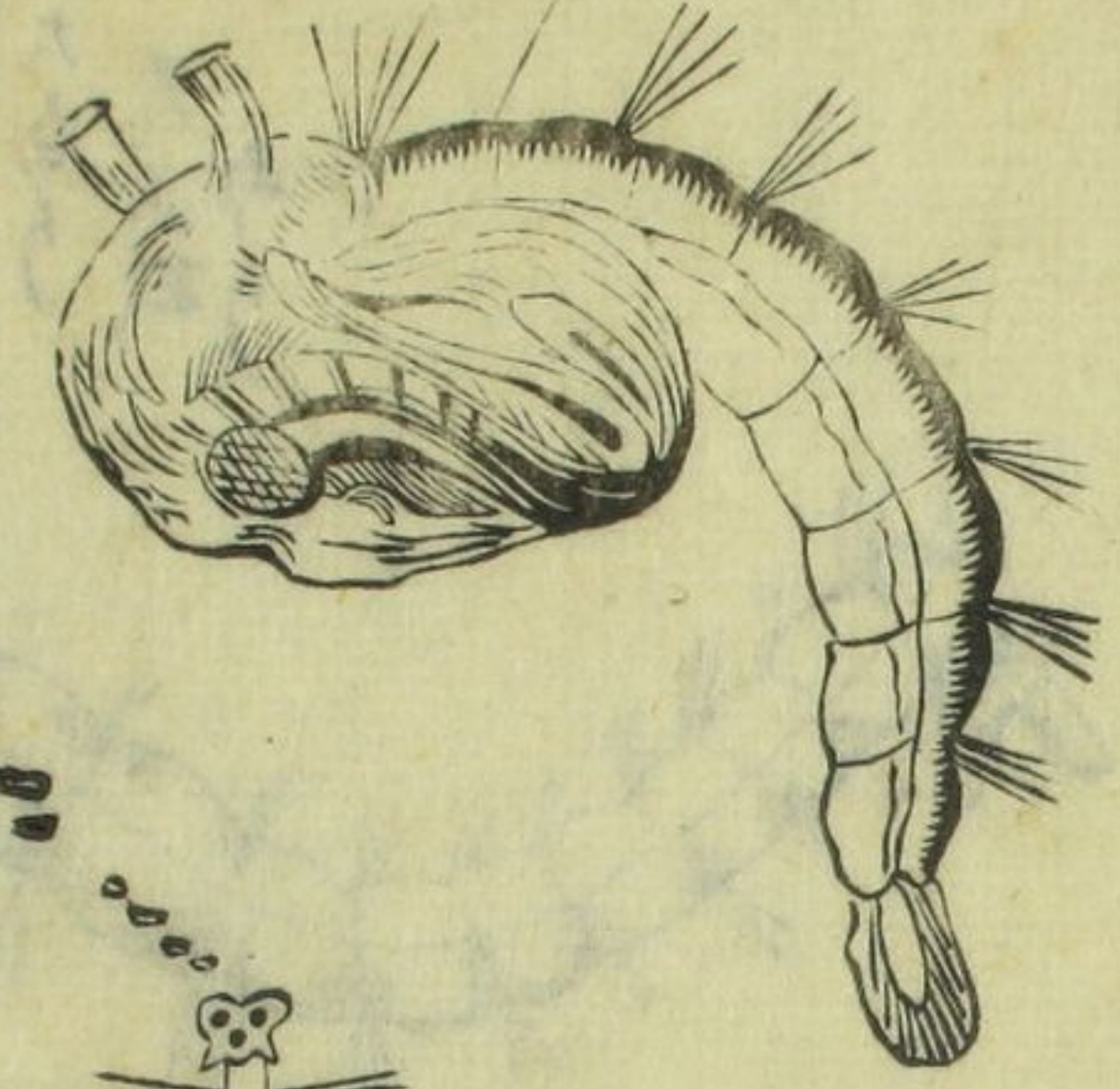
二



五



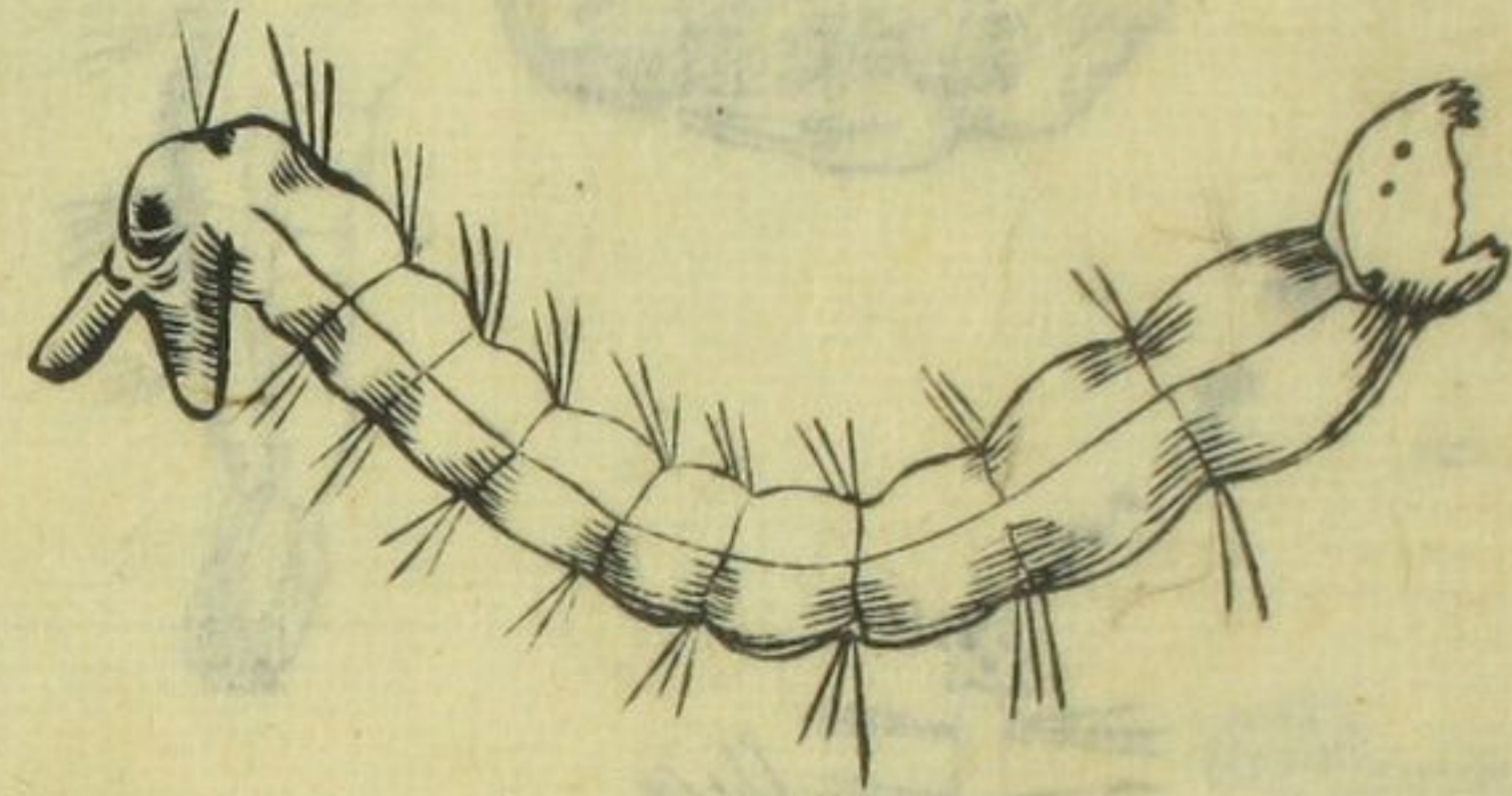
子



全身鱗わり尾み枝わり
そのまゝなりまゝ吹送れ
角なり

赤子又

口もかき
大あり
尻も枝
あり



紅毛雜話卷之三

茶立虫

全身虱に似たり眼あり
鼻の先は櫛の形の角あり
是はわらわて海とあり



